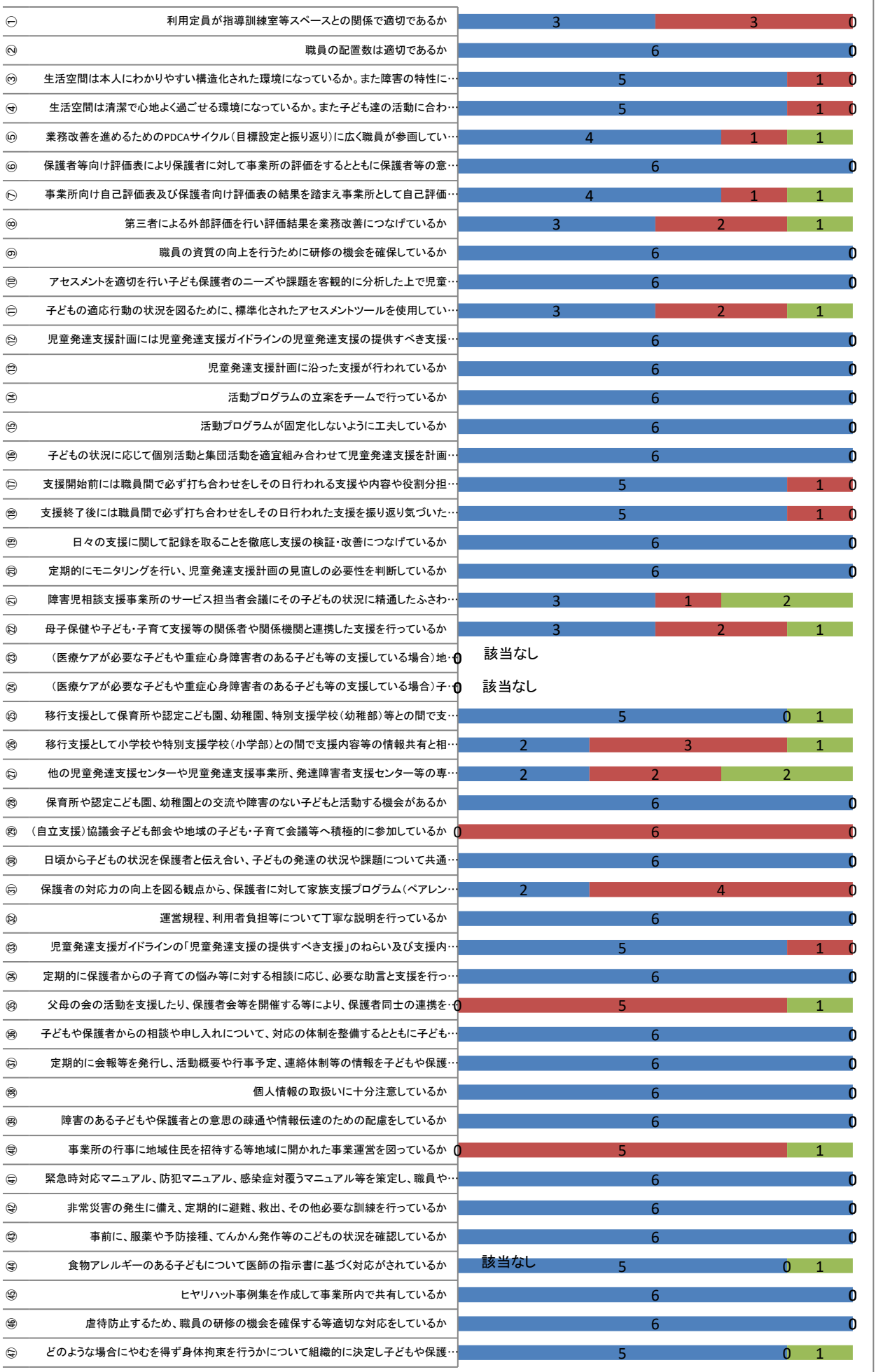
令和3年度　職員向け　児童発達支援評価



①利用定員が指導訓練し室等スペースとの関係で適切であるか

・活動の幅が広がり狭く感じる時があるので、小集団の活動の部屋等部屋を分けています。

②職員の配置数は適切であるか。

・配置数は適切で満たしているが、利用者の特性上、1人スタッフで複数の利用者を見るのに無理がある時もある。安全に過ごせる対応が必要で、1人の利用者に対しスタッフ1人が対応している事も多い。

③生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備などは、バリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされているか。

・マークやイラストを取り入れてわかりやすいようにしており、障害の特性に応じ、その都度、落ち着ける環境を提供できるように心がけています。情報伝達についてはスムーズでないと感じるところもある為、携帯電話やメール等で迅速にできるよう改善していきます。

④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか

・コロナ禍もあり、常に消毒、掃除を徹底しております。又角などケガに繋がりそうな場所はカバーを付け、場合によっては仕切りを設けて対応しています。

⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか

・会議で話したりしているが、進まない部分も多いのでスムーズにできたらと思う。

⑨職員の資質の向上を行うために、研修機会を確保しているか

・法人内での研修は毎年全職員が受けております。その他法人外での研修は職員自ら参加したいと思っています。

⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか

・利用者の来所前にミーティングを行い、情報を共有し、確認しています。

⑮活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

・ある程度の流れは固定して導入を行っている。利用者の特性に合った活動提供を行っているつもりで、レベルに応じ変化させているが運動スペースは限られている為、課題は固定化しない。

・その日の情緒面に考慮し、工夫して取り組んでいます。

㉑～㉖については職員によってはわからいところもあるので、内部での研修を続けていきます。

⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

・家族からの情報やその日に気になった出来事は職員間で情報を共有し、全職員が共有できるように申し送りノートを活用しています。

㉘保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか

・同じ棟内にある保育園といつでも活動、交流が出来る。コロナウイルス感染症の関係上制限されることはあった。

㉙（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

・法人内の職員は参加しており、状況等は伝えてもらっているが、事業所としての積極的な参加は出来ていないので、出来るだけ参加できるようにしたいと思います。

㉚日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

・連絡帳で、状況等伝え合い、送迎時、会話をするようにし、相談に応じては面談の時間をとるようにしている。
・保護者の方が抱えられている問題等の解決に向け職員間でも情報共有しています。

㉛保護者の対応力の向上を図る点から保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか

・経験不足もあり行なえていると言えないところもあるが、出来る限り、送迎時や面談時に保護者からの相談に応じて情報を提供し対応している。

㉞定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

・その都度保護者様の思いに寄り添い対応しているが、正しかったか時々不安になる時があるので、研修を続けたいと思っています。

㉟父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

・新型コロナウイルス感染対策の為、開催できなかった。
・送迎時の関わりを大事にしているが、限られた状況ではあるが、そうした機会を望保護者とそうでない保護者がいらっしゃるので、対応は難しいと感じる時がある。

㊲定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

・日々写真をつけて活動した事を見える化し、連絡帳で様子をお伝えしている。行事に参加できる人が限られたりすぐ事が多いため連絡帳や写真が主になっている。

㊵事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

・新型コロナウイルスの感染症対応の関係でなかなか行えていない。落ち着いている時は見学等出来るので、その都度、出来る対応をしている。

㊷非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な避難を行っているか

・火災訓練は定期的に行っているが、避難経路の滑り台を使用していない事もあるので、訓練の経験を重ねていき、その他の災害の訓練も行っていきたいと思っています。

㊹食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

・該当者なし

⇒令和2年度より新棟での事業が始まり年々療育内容を充実し、清潔で子ども達が使いやすい環境となっておりますが、活動に対しての環境ｽﾍﾟｰｽはこれからも工夫しながら専門的な支援の実施に努めて参ります。

また、より良い支援を実施していくための取り組みとして、内部研修、外部研修に定期的に参加したいと思っています。